

せんだい地球フェスタ 2013 でユニセフを紹介 『ひろげよう、心のとびら！つながろう、世界と』

9月15日（日）、仙台国際センターで86団体が参加して開催されました。ユニセフのブースでは写真パネル展示とカード&ギフトの頒布活動を行いました。カード&ギフトの頒布金額は71,520円、募金は3,665円でした。初めて参加したユニセフのボランティアさんたちは国際色豊かな『お祭り』を十分楽しみました。世界を体験できるすてきな1日になりました。この日、地球フェスタに参加している団体がそれぞれに、貧困解決のための世界的



なキャンペーン「スタンド・アップ テイク・アクション」にも参加させていただきました。「貧困をなくすために、自分のできること……」一人一人がカードに書きました。
” ムダ使いをしません。支援する心を忘れません。” などなど

しばたまち平和の祭典

9月23日、槻木生涯学習センターで第4回目の祭典が開催され、ユニセフの写真パネル展とカード&ギフト頒布を行いました。

22,160円の利用がありました。パネルは「シリア危機」と「子どもたちにやさしい地球を残そう」の2種類で、来場された方々に見ていただきました。この日もボランティアさんが活躍しました。



ユニセフ学習会 @天童高揃小学校

9月26日、山形県天童市のたかだま小学校の6年生と一緒にユニセフを学習しました。事前の調べ学習でユニセフについてたくさんのことを学んでいた6年生の皆さんですが、『聞く姿勢』がとてつごいことに驚きました。『真剣な目・耳』で疑問に思っていたことをしっかりと理解しようとしていました。そして……水がめは満タンで運びました。



被災三県連絡会

10月2日、東京のユニセフハウスで、岩手・宮城・福島の県協会事務局長と日本ユニセフ協会の東日本大震災支援に関わっているスタッフとのミーティングがありました。3月に続き、今年2回目です。子どもの保護担当の専門家や日本プレイセラピー協会の専門家にも加わっていただき、今年度の活動状況やさらに2年間の支援活動の継続について話し合いを行いました。心理社会的支援、子どもの保護、子どもにやさしい復興計画の三分野が継続されます。県協会の関わりも今年よりも深いものとなりそうです。



みやぎ生協の職員研修で

レギュラー職員となって2年目研修で「みやぎ生協とユニセフ」についてお話しさせていただく機会がありました。みんなユニセフのことを知っていましたが、成り立ちや活動の具体的なことは知らなかったようです。みやぎ生協がユニセフの支援活動を継続していけるのは、自分たちが現在の仕事を日々きちんと行っていくことだと理解されたようです。何事にも真面目に取り組む姿勢に将来の明るい光を見た思いでした。